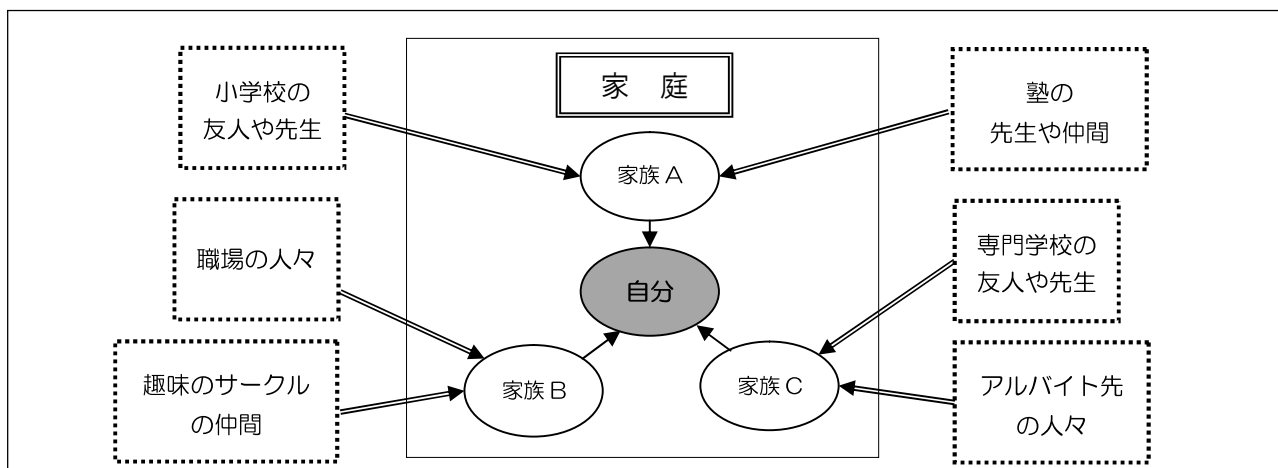


◆◇「新型コロナウイルス」を考える②

長い休校期間が終わってから、およそ5か月が過ぎました。飯野高校も、以前の活気を取り戻しています。しかし、新型コロナウイルスがなくなったわけではありません。もしも身近な人が感染してしまったら…もしも検温をしたときに体温が高かったら…そういった不安は、誰もがもっていると思います。文化祭という大きな行事を目前に控えた今、新型コロナウイルスにどう向き合うべきなのか、自分や家族、友人など大切な人たちを守るために、あらためてみなさんと確認をしておきたいと思います。次の図を見てください。

図：自分と家族のつながり（例） 【出典：三重県教育委員会「考えよう！新型コロナウイルスに感染したときのこと」】



このように、私たちは、誰もがいろいろな人とつながりをもっています。このことから確認しておきたいのは、次の3点です。

- ①感染する可能性は、誰にでもあること。
- ②だからこそ、お互いに感染予防をすることが大切であること。
- ③たたく相手は感染した人ではなく、新型コロナウイルスであること。

感染してしまった人には、「どうかお大事に。早くよくなって戻ってきてください」という気持ちで接してほしいと思います。感染した芸能人やスポーツ選手がテレビやブログなどで謝っているのを見かけますが、それでいいのでしょうか。苦しんでいる人をさらに苦しませてしまう世の中、感染者に謝らせている世の中を少しでも変えるには、周囲の人たちが優しい心をもつこと。つまり、まわりの人の考え方が変わることが必要です。この機会にあらためて、他者とのかかわりや接し方について考えてみませんか。

